



どうにかする力

泗水小学校だより
R4. 7. 19 (火)
No. 14
校長 工藤竜一

【校訓】 なかよく つよく しんけんに

【学校教育目標】 自立する泗水っ子の育成

～「生きる力＝どうにかする力」を育む教育活動を通して～

本校で「小学校英語授業づくりプロジェクト」研修会がありました！

7月12日(火)、県教育委員会義務教育課英語教育推進室が主催する研修会が本校でありました。菊池管内や山鹿市の外国語担当の指導主事や学校の先生方が来校され、本校の英語専科の坂西智美子先生が5年1組で授業を行い、その授業研究をもとに研修会が行われました。

坂西先生は、今年度から泗水小に来られましたが、本校の卒業生で、母校の後輩に英語を学ぶことの意義を伝えたいと熱心に指導に取り組まれています。今回の授業では、ALTのオレフ先生と連携しながら授業を展開され、来校された先生方から、「子どもたちとのやりとりから、信頼関係が感じられる授業だった。」と感想をいただきました。外国語の授業は、豊かな表現力やコミュニケーション力を育てるのに適しています。今後も学習の充実に努めていきたいと思います。



5年1組の授業の様子

校内人権旬間の取組～各学年で人権集会を行っています～

校内人権旬間の取組のまとめとして、各学年で人権集会を行っています。4年生は、7月14日(木)に行いました。「なかまについて考えよう」というテーマで、代表者の発表の後、「4年生としてどんななかまになりたいか」を多くの子どもが発表しました。「相手の気持ちを考えるなかま」「思いを伝え合うことができるなかま」「嫌なことをしている人がいたら注意するなかま」など、20人ほどの子どもたちが活発に発表しました。

前期の人権旬間では、各学年で「なかまづくり」を中心に取り組みました。前期後半からも、一人一人の人権が大切にされるなかまづくりの取組を継続していきたいと思います。



4年生の人権集会の様子

☆校長室から独り言12☆

夏休み間近～親子でいつまでも心に残るいい思い出を！～

今週7月23日(土)から夏休みが始まります。8月24日(水)までの約1ヶ月間の夏休みですが、ぜひ、親子でいつまでも心に残るようないい思い出を作ってくださいと思います。

私の息子との夏休みの思い出といえば、「甲子園球場」です。夏休み中も野球部指導でほとんど休みはありませんでしたが、お盆前後の2～3日は野球部を休みにしたり、外部コーチをお願いしたりして家族で過ごさせてもらいました。私の影響で息子は野球大好き少年になり、そこで毎年のように出かけたのが甲子園でした。私の叔父夫婦が大阪で焼肉店を営んでおり、夕食も泊まる家も心配ありませんでしたので、往復の交通費さえ用意すれば、甲子園で夏の高校野球を観戦することができました。

息子は人懐っこい性格でしたので、甲子園球場では、バックネット裏のテレビ中継に映る席にいつも座っている名物おじさんたちと仲良くなりました。甲子園に出発する前に、息子がおじさんの一人に電話をし、テレビに映る席を確保してもらいました。おじさんたちへのおみやげを手に、甲子園に行きました。うまく日程が合えば熊本県代表の試合を観ることができました。熊本工業、九州学院、城北、済々黉の試合を観た記憶があります。一投一打にあがる打球音や歓声の迫力、常連校の応援やプラスバンド演奏の素晴らしさ、負けたチームを激励するあたたかい拍手…すべてが感動ものです。野球をする者が甲子園を目指す理由がわかります。まったく野球に興味がなかった妻が、「今年も甲子園に行こうか。」と言うほどでした。

高校生になると、息子は野球部の同級生と甲子園に行くようになりましたが、親子三人、猛暑の甲子園に毎年通った思い出は、今も心に残っています。親と一緒に遊んでくれるのは小学生までかなと思います。今年の夏も、親子でいつまでも心に残るような思い出ができるといいですね。